



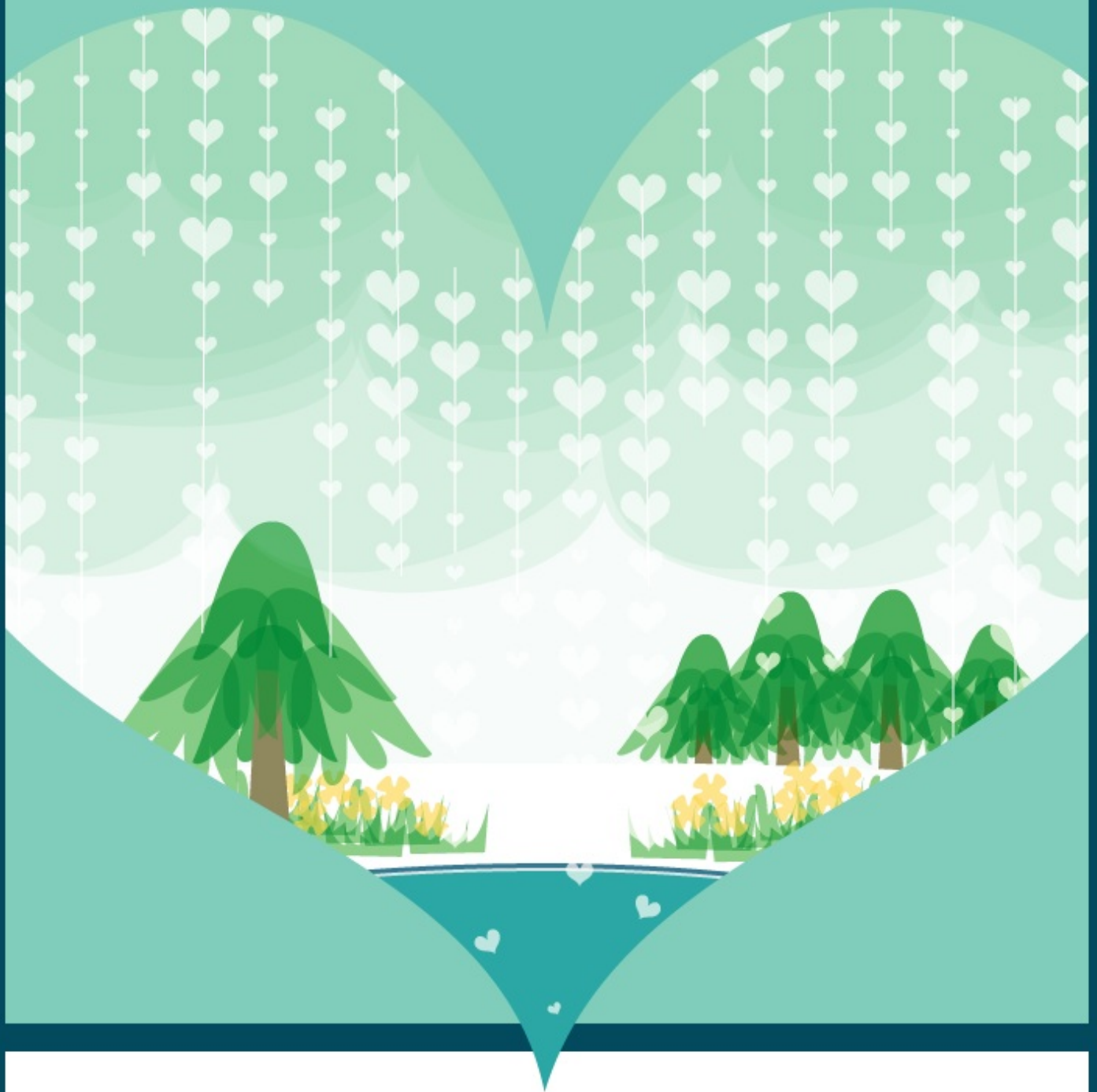
HEART FURL

**Presented by
ROROnen**

HEART FURL

**Presented by
ROROnen**

【1】 ハートの雨



ルウ・ルウウでは
ときどき

ハートが降ります

【2】おこる人



プンスカ怒るのが
くせになっている人や

【3】 つかれた人



ちょっと

おつかれ気味な人も

【4】ずぶぬれ



ルウ・ルウのハートで
ずぶぬれになると

【5】さっぱり気分



嫌な気持ち洗い流されて
笑わずにいられなくなるのです。

【6】 たくさんの笑顔



るぅ・るううの人達は
ハートの雨のおかげで
いつでも幸せなのです。

【7】 トウッチも好き



ルウ・ルウウに住んでいるトゥッチも
ハートの雨が大好きなんです。

【8】 黒マントの男



ある日の夜、

黒マントの男がルウ・ルウウを
訪れました。

【9】 うろつきまわる



全身真っ黒な出で立ちで、

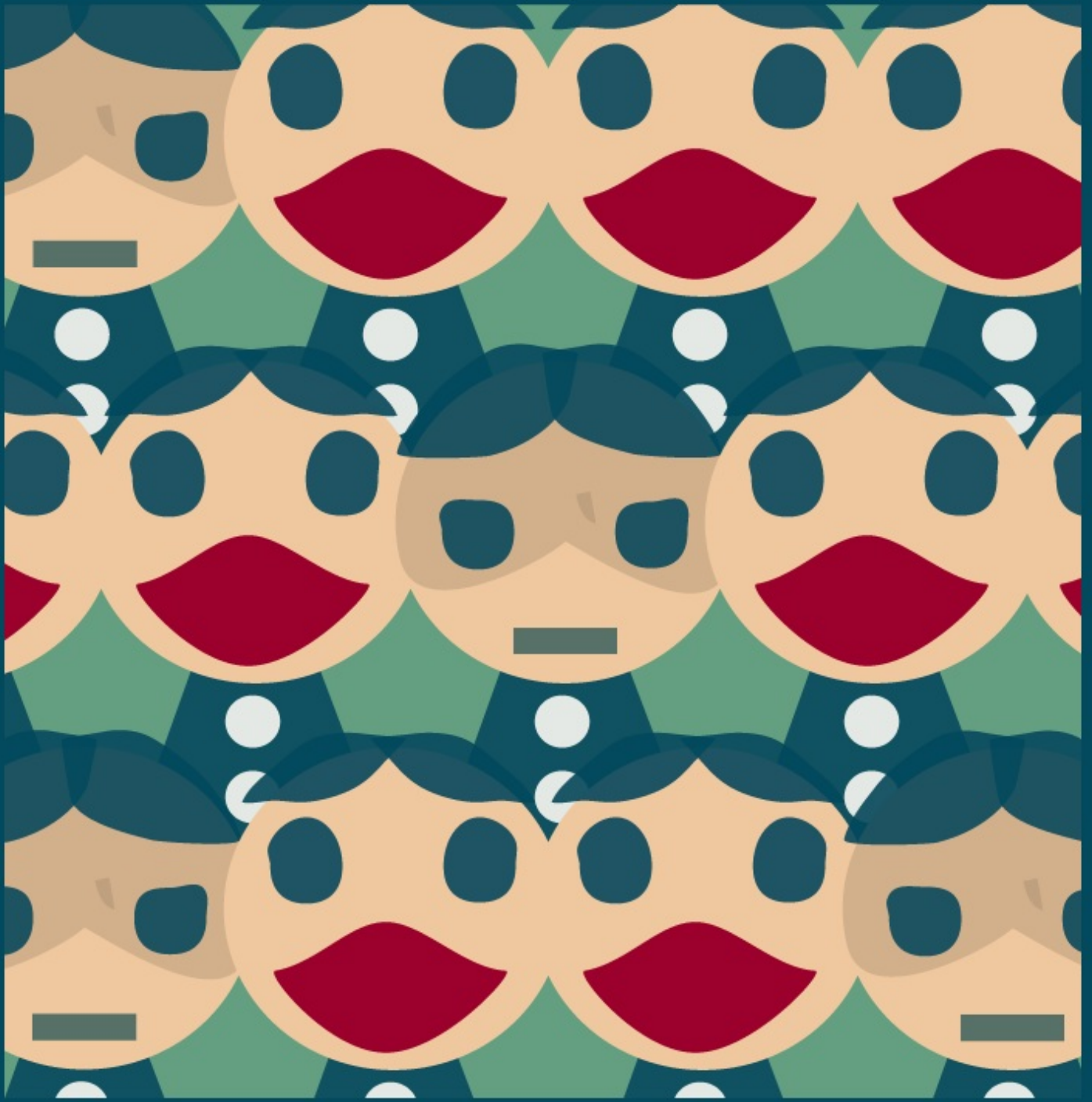
ルウ・ルウウを歩きまわります。
あいさつしても黙っているので
みんな、だんだん怖くなってきました。

【10】理由



誰かが言いました。

”あいつが来てから
ハートが降らなくなった”



黒マントの男に悪いうわさが
立ち上りはじめたのです。



マントの中に凶器を隠し持っている

【13】 また うわさ



南のルシエントから来た大泥棒



ただの妄想ですよ、妄想。

でもなんだかルウ・ルウウの人達の
目つきがするどくなってきたんです。

【15】パン屋の長男



黒マントなんかにパンは売れやしないよ
子供もビックリしているじゃないか！

パン屋が怒りだしました。

【16】市場のおかみ



売れる物なんかひとつもありやしないね！

市場のおかみさんも
黒マントの男に怒りだします。



悪い気持が...

... まるで

風邪をひいた時みたいに
どんどん伝染して行くのです。

【18】 トウッチの場所



トゥッチは大好きなルウ・ルウウが

だんだん壊れて行くのが哀しくて
小さな泉のいつもの場所で
ただ ただ 泣いていました。

【19】 ドン！



ドン！

ザラザラした気持ちになった
粉屋のひげ親父が、通りすがりに
黒マントの男にわざとぶつかりました。
そして、そのいきおいで...



黒マントの内側から何かが飛び出し

それを花屋の末息子の右手が
捉えました。

【21】 白いマユ？



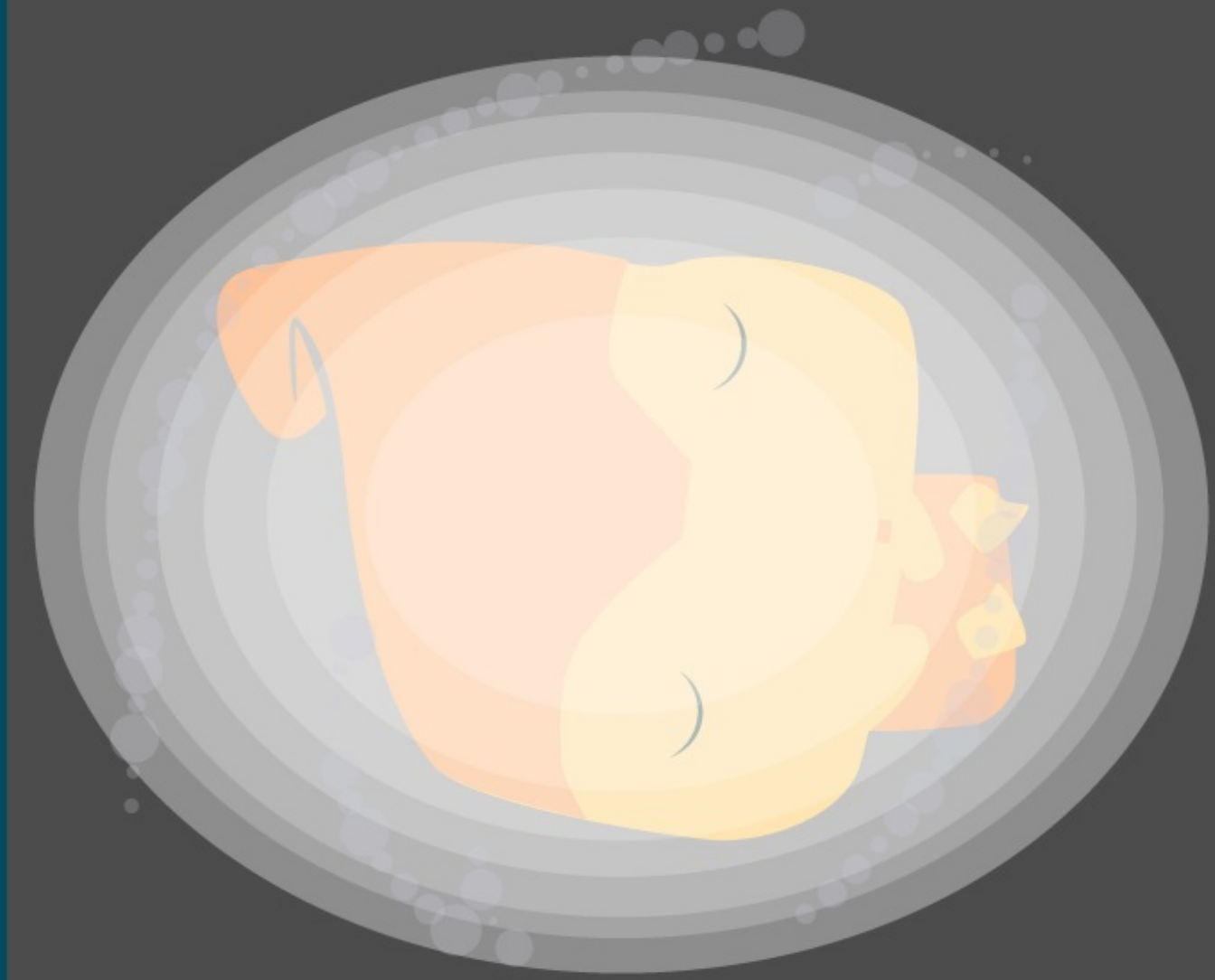
こ、これは…… 何？
マユ……？

手の中の白い絹糸のかたまりが
やわらかく、光っています。



粉屋のひげ親父が覗きこみます。
市場のおかみも覗きこみます。

こ、これは！！
トゥッチのマユ？？



”トウッチって、森の守り妖精だよね？
ボクはまだ見た事がないよ・・・”

”あたしだってないさ”
三人はマユを覗き込みます。

【24】 森の中へ



マユを覗き込んでる間に
黒マントの男はすばやく三人に近づき
超速の手技でマユを取り戻しました。
しっかりと、でも、やさしく握り・・・
森へ逃げ込みました。



”それ、見ろ、あの手さばき、
大泥棒に間違いはない”

粉屋のひげ親父が言い放ちました。



黒マントの男が何かしでかしているぞ！

.....

噂が広がるのはあっという間です。

【27】不安がいっぱい



ルウ・ルウの人達心が
今度は不安で一杯になりました。

何が悪い事が起きそうだ！・・・と。

【28】 黒マントの居場所



黒マントの男は
トゥッチの好きな小さな泉に立っている
一番大きなドウワールの木の根元で
一息ついていました。

【29】 もうあんな事がないように



マユはシーコンで編んだ袋に入れて
胸元からぶら下げてマントの中に
あるのですが、
さっきの出来事が心配で
何度も何度も中を覗き込みます。



”トゥッチのマユをみせてください・・・”と、不意に、ドウワールの木の後ろから花屋の末息子が顔を出して言いました。マユをもっと良く見たくて黒マントの男を追いかけて来たのです。



驚いた黒マントの男と
ドキドキの花屋の末息子。

目を合わせて少しの間の後、そのまま目を
合わせながら二人はニコリとしました。



”ヨヨヨヨヨ”

滑らかで軽快な音が黒マントの男の口から流れ出します。どうやら・・・異国の言葉のようなのですが、花屋の末息子にはまるで音楽のように聞こえます。

【33】 仲良しの秘訣



”仲良くなるにはね、名前を呼び合う事が一番だ”種まきばあちゃんが教えてくれた秘訣を、花屋の末息子は思い出しました。早く仲良くなってマユを良く見せてもらいたいのです。



”ボクはブウウム”

”ブウウム”

花屋の末息子が自分を指さし、5度、繰り返すと、黒マントの男はブウウムを指さし
”ブウウム”と発音してくれました。



そして今度は自分を指さし、“ヴァーケ”と繰り返したのですが、“ヨヨヨヨヨ”と“ヴァーケ”がまじって聞こえてしまうのでブウウムは“ヴァーケ”と聞こえるまでヴァーケに30回は繰り返させてしまいました。



二人で何度も名前を呼び合った後、
ブウウムはヴァーケの胸元を指さし、
”トウッチ”と、
ヴァーケの顔色を見ながら恐る恐る
言ってみました。



”トウッチ！”と、自分が呼ばれたのかと勘違いしたトウッチは

思わず二人の目の前に姿を現わしてしまいました。



ヴァーケは自分が胸元に
大事に抱えているマユの中にあるものと
とっても似たものが現われたのでビックリ！
シーコンの袋を取り出してトゥッチと
見比べはじめました。

【39】 シーコンの袋の中



きっと一番驚いたのはトゥッチ。
自分とこんなに良く似た何かを見たのは
初めてなので、人に見られている事なんか
お構いなしにマユを覗き込み始めました。

【40】 ヴァーケの音



♪ ヨヨヨヨヨ～ ♪
ヴァーケの国の言葉は
なんだか全部同じに聞こえるけど
気持ちいい素敵な音を奏で始めました。
♪ ヨヨヨヨヨ～ ♪

【41】あれも、これも、それも。



マユをもっとよく見たくてヴァーケを追いかけて来たブウウムは、初めて会ったトゥッチもよく見たいし、ヴァーケの音をもっと聞きたくてあちらを見たりこちらを見たり。



あまりにも気持ちのいい音に
ドゥワールの木も森の木も、小さな泉も
音の波に揺られていきます。
ルウ・ルウウ全体が音に合わせて
揺れ始めました。



空も気持ち良く揺れます。
ブウウムも、そして
トゥッチの心も揺れはじめた時です、
マユの中のトゥッチに似たそれまでもが
揺れ始めたのです。

【44】 空が変わる空気が変わる



ヴァーケが更に
やさしい音を出し続けると・・・
いつのまにかモヤモヤと蔓延していた
悪い気持が、ハートの雨が降った後の様な
ルウ・ルウウになって来たのです。

【45】 パッキッ！！



ブウウムが3つの出会いと音に酔っていると
【パッキッ】
小さな小さな音がします。
トゥッチとブウウムはマユを覗き込みますが
ヴァーケは更にやさしく奏でます。